

●巡礼のお誘い

人はその魂も心も身体も神仏から生まれました。それゆえ神仏は外にあるのではなく自分の心の中、身体の中に具（そな）わっています。ところが、人生の長い間には心の塵がつもり重なって見えないことがあります。この塵をふり払い、心の中の仏にであう旅、本当の自分に気づく巡礼にでかけませんか。



●写経のすすめ

写経とは

文字の通りに仏の教えが書かれた経文（ふつうは般若心経）を写すことです。経文はただの文字ではなく真理を伝えようとした仏の思いが込められたものです。ですから、仏を心に感じながら文字を写す事は天界の仏とつながることなのです。

写経したものはどうするか？

寺社にお納めします。→納経するといいます。

納経のありがたさ

写経に書いた願いを祈って頂くという事だけでなく奉納先の神仏としっかりと縁を結んでいただく事を意味しています。

境内マップ



幸福の七地蔵お守り

※納経帳の本来の使い方

ご宝印の集印帳ではありません。写経したものを寺社にお納めする証として寺社からいただくご宝印の記録となります。

お授け品

笈摺(おいずる)大 ご詠歌あり

笈摺(おいずる)小

納経掛け軸



納経帳 (集印帳)



※掛け軸は当寺住職が一品ずつ手書してご奉納します。

納経 横額 (満願されるとこんな感じですよ。)



※法話集・縁起書もあります。

※別図柄 他に3種あり